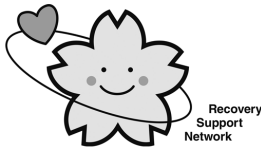


ぱちんこ依存問題相談機関 認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク  
ぱちんこ依存問題相談機関からのメッセージ



# さくら通信

91号

さくら通信とは… 小さなつぼみに過ぎない私たちの活動が、桜前線のように南の島沖縄から日本中に回復支援の輪となって広がり、これらを必要とする人たちに届くことを願って名づけました。

この秋の国会でのカジノ法案の国会審議入り予定を引き金に、遊技業界内の依存問題への対策への意識が急速に高まり、遊技業界独自の依存問題対策ガイドラインの作成作業が続けられています。その動きの中で、10月からパチンコホールの新聞の折り込み広告や、街中のホールの広告ポスターの紙面に、「パチンコ・パチスロは適度に楽しむ遊びです。のめり込みに注意しましょう。」という注意喚起の文言が掲載されています。これはホールが加盟する日本最大の組合である全日本遊技事業協同組合連合会が、加盟組合ホールに呼びかけて実現したものです。現在は、紙面の20%を注意喚起スペースに充てるように働きかけているとのこと。子どもやパチンコをしない人たちの目に触れる広告に注意喚起を掲載することは、その効果はどうであれ、まずは依存問題対策に取り組んでいく上で大切な一歩だと思えます。さて、この後どのような取り組みがなされるのか、これから遊技業界の本気度が世に問われることになりそうです。今年も残すところ1ヵ月余り、今年も電話相談件数は、3000件を超えそうです。さくら通信11月、12月、2015年1月号は、4ページ版で作成いたします。

## CONTENTS

- P1.....RSN News
- P2.....RSN月次データ報告
- P3.....相談電話の向こうから(その15)
- P4.....情報掲示板

## RSN News

### 【お知らせ】

#### 「ケアする人のケアセミナー in 沖縄 ～人はなぜ助け合うのか～」

財団法人たんぼぼの家が主催する「ケアする人のケアセミナー in 沖縄」が下記の日程で開催されます。本セミナーでは、いにしへの文化や先人の知恵に学び、本来のケアのあり方やコミュニティ再構築への道筋について考えます。医療や福祉、家庭で介護に携わる人やコミュニティ、まちづくりに関心のある方はどなたでも参加できます。RSNは、本セミナーの実行委員として開催に協力しています。詳細については、同封した告知をご参照下さい。RSNのHPから参加申し込み可能です。皆様のご参加お待ちしております。

#### 【ワークショップ】

2014年12月20日(土) 14:00～16:00  
カルチャーリゾートフェストーネ  
(沖縄県宜野湾市真志喜3-28-1)  
研修室B・C/会議室B

#### 【セミナー】

2014年12月21日(日) 10:30～16:30  
沖縄コンベンションセンター会議室A-1  
(沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1)

### 【活動報告】

#### (公財)日工組社会安全財団 第18回 「パチンコ依存問題研究会」(2014/10/1)

2014年10月1日(水)に第18回「パチンコ依存問題研究会」が東京で開催され、西村代表が参加しました。第19回は、11月19日(水)開催予定。

#### 扇屋商事株式会社にて依存問題についての社員研修講師(2014/10/15・29)

宮城県下でホールを経営する扇屋商事株式会社の社員研修「依存問題研修講座」(2014年10月15日(水)第6回、10月29日(水)第7回)を扇屋商事にて行いました。

#### 東京都遊技業協同組合理事会にて 研修講座開催(2014/10/22)

2014年10月22日(水)に中野サンプラザホール(東京)にて開催された東京都遊技業協同組合の理事会において、西村代表、ワンダーポート中村努施設長が研修講演を行いました。参加者は約900名でした。

### 【視察・来訪】

- 株式会社カイルス遊技問題研究所 三橋達雄氏
- Asahiグループ 南 典孝氏

ぱちんこ依存の相談は **050-3541-6420** 月～金 10時～16時(土日祝祭日除く)

※さくら通信は、「AJOSC」「夢屋基金」の助成、会費、寄付金などにより発行・配布を行っています。

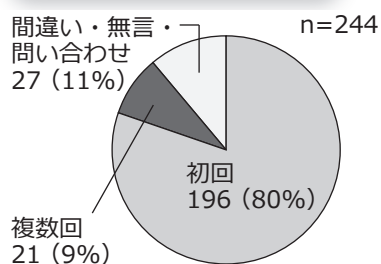
## 2014年10月の電話相談のデータ報告

10月の相談件数は244件で、前月より39件の減少でした。ホールの折り込みチラシ等の広告にのめり込み防止の標語を掲載するように全日遊連が全国の会員に要請を行うなど、のめり込み防止の取り組みが10月以降大きく動き出しています。メディアでもギャンブル依存に関する報道特集が組まれ、依存に関する情報を目にする機会が増えています。極端に不安を煽るような報道も多く、相談員は相談者の動揺を心配しています。次ページでは相談員の感じる不安についての事例を取り上げました。ここ数カ月の相談件数は250件前後と落ち着いていますが、相談件数や相談内容の変化について、今後の動向とともに注視していきたいと思えます。

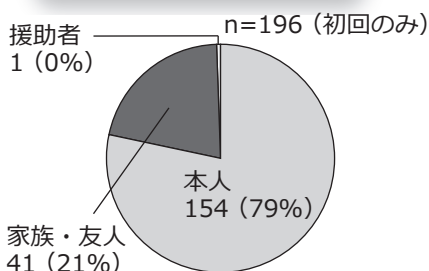
2014年10月1日～2014年10月31日 相談件数 244件

2014年1月1日～2014年10月31日 2014年累計2,637件 開設からの総件数(2006年4月～)14,364件

### ① 相談回数



### ② コーラー関係性



### ③ 性別

性別	件数	割合
男性	116	75%
女性	38	25%

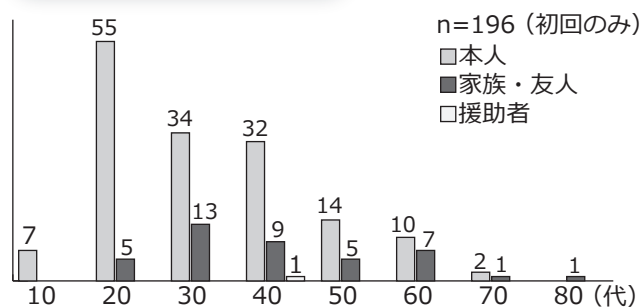
性別	件数	割合
男性	11	27%
女性	30	73%

①相談回数…初回相談196件(80%、前月比-29件)、複数回21件(9%、同-16件)、間違い・無言・問合せ27件(11%、同+6件)でした。初回相談、複数回ともに減少しました。

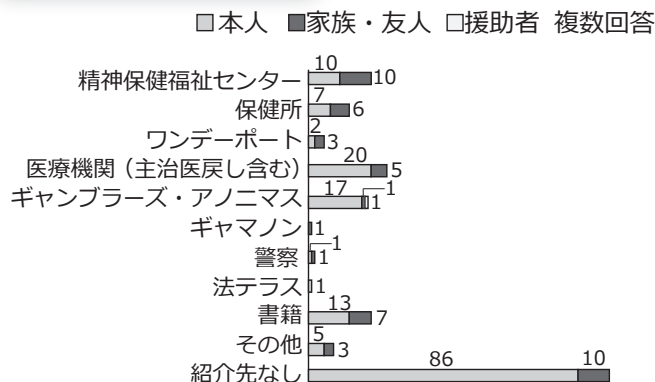
②コーラー関係性…初回相談の内訳は、本人154件(79%、前月比-16件)、家族・友人41件(21%、同-11件)、援助者1件(0%、前月比-2件)でした。各項目で減少しました。

③性別…本人性別の内訳は、男性116件(75%、前月比-14件)、女性38件(25%、同-2件)、家族・友人性別の内訳は男性11件(27%、同+1件)、女性30件(73%、同-12件)でした。

### ④ コーラーの年齢



### ⑤ 紹介先



### ⑥ 経路

	本人	家族・友人	援助者	合計
ホール内ポスター	91	7	0	98
インターネット	37	23	0	60
雑誌	7	0	0	7
他の相談機関	0	3	0	3
ホール貼付ステッカー	1	1	0	2
その他	12	7	0	19
不明・拒否	6	0	1	7
<b>総計</b>	<b>154</b>	<b>41</b>	<b>1</b>	<b>196</b>

④コーラー年齢…前月と比較し、本人からの相談は30代の減少が目立ちました。相談が全体的に減少した中、20代からの相談は6件増加し、55件となりました。

⑤紹介先…医療機関での治療を強く希望する方には、地域の情報提供の場として精神保健福祉センターや保健所を紹介しています。

⑥経路…ホール内ポスターとインターネットで全体の4分の3を占めました。ホール内ポスターについては「ホールでよく見かける」「以前から気になっていた」という声も多く、認知度は確実に広まっている印象です。

## 相談電話の向こうから（その15）

「ギャンブル依存症」がメディアで多く取り上げられる影響からか、相談者からも「依存症」というキーワードがよく出てきます。相談員は多くの相談者から発せられる「依存症」という言葉に違和感と不安を感じながら対応することもあります。その理由について、事例を通して伝えてみたいと思います。なお事例については相談者が特定できないよう配慮してあります。

### ケース 「夫は依存症か？不安を感じる妻からの相談」

相談者：Aさん 30代（妻）：対象者Bさん 20代（夫）

たびたび実家に逃げ込む夫Bさんに困り果て相談につながったAさん。夫のBさんは、3ヶ月前から実家に戻り両親と生活している。Bさんが実家に逃げ込むようになったのは第一子が生まれた3年程前からで、その頃から家のお金を度々使い込むようになった。子どものための貯蓄も使い込むようになり、本人に問いただすとパチンコに使ったといい、少額の借金も発覚する。パチンコに行くお金がなくなると、両親に生活費が足りないと嘘をつきお金を貰っている。妻のAさんは、その度に両親から「しっかりしなさい」と叱られている。経済的問題の原因を説明しても両親は聞き入れない。本人にパチンコをやめるように伝え金銭管理を始めたときも、両親からは「少しぐらいパチンコしても良いじゃない、厳しすぎるのよ！」と言われた。両親に言われた通り、少しだけパチンコをさせてみるが少しでは済まない。AさんはBさんと両親の関係性に強い違和感があるという。両親は夫を諭す様子もない。夫には自立した考えがなく、同年代の人と比べても幼稚で、何か問題が起きると責任を果たせず、すぐに逃げ出す。職場の同僚だったAさんは、Bさんには以前から仕事上でも問題（部署の異動など）が起きるとすぐに休んでしまう傾向があるという。第二子の出産を控えているのに、この生活がたまらなく不安。夫は依存症なのでしょうか？

#### ◎相談員の感じること



IR推進法案(いわゆるカジノ推進法)の国会審議に伴い「ギャンブル依存症」という言葉がメディアに登場する機会が増えました。この影響からか以前にも増して、「依存症」という言葉を含んだ相談が寄せられています。「依存症になった」「たぶん依存症だと思う」「最近、依存症っぽいです」と家族はもとより、問題を抱えた本人も自ら“依存症”を名乗ってきます。“依存症は病気”という概念が定着しつつあることに、相談員は不安と戸惑いを感じます。なぜならば依存症という言葉はすべての問題を隠してしまう恐れがあるからです。すべての問題行動を依存症という病が引き起こしているという見方になりかねません。例えばBさんの問題行動を依存症という視点をもとに、表面化した問題を切り取ってメディア的な表現をすると「幼子を抱え家庭を顧みずパチンコに没頭する夫、依存症の恐怖」となり、パチンコをするがゆえに問題行動につながっていると捉えられてしまいます。しかし見方を変えて考えると、パチンコをすることは結果であって、Bさんにはパチンコをしてしまう(しなければいけない)理由が他にあるかもしれません。Bさんの問題行動が起きる時期に着目すると、パチンコの問題や家出の問題が起きるのは、家族が増えた時

や職場の異動といった大きな環境変化がある時です。家族が増えることは喜ばしいことですが、一方で強いストレスや責任を伴います。Bさんは、環境変化などのストレスへの対処能力が低く、問題から逃避するためにパチンコに行っているようです。

また、妻のAさんも感じている両親との関係性にも問題がありそうです。両親が本人の世話をここまで引き受ける理由も評価する必要があります。幼いころから目を離せない理由が他にあるのかもしれませんが、学生時代の生活も把握する必要があります。自立的な考え方が備わっていないのは年齢以外にも阻害している要因があるのかという疑問もあります。Bさんに対する見方を少し変えることで見立ても変わりますし、焦点を変えると改善すべき課題はパチンコ以外にも多くあることが見えてきます。パチンコがたくて抑えられない強い衝動から遊技する方と、逃避目的な遊技をするBさんには大きな違いがありそうです。パチンコをどのようにやめさせるか考える前に、なぜパチンコをしてしまうのか(しなければいけないのか)、背景に隠れた問題を整理していくことが重要です。「依存症は病気です」という表面的な捉え方は、問題の本質を覆い隠し、画一的な考え方にしてしまう危険があると相談員は感じています。



## 情報掲示板

### 家族教室 / 相談

都道府県	名称	日程	時間	主催	問合せ先
宮崎県	依存症専門診療相談	毎月第1・3月曜日	午後	宮崎県精神保健福祉センター	0985-27-5663
	ギャンブル依存症者の家族のつどい	毎月第1木曜日	13:30～15:30		
熊本県	依存症家族ミーティング	毎月第3金曜日	13:30～15:30	熊本県精神保健福祉センター	096-386-1166
佐賀県	ギャンブル依存症・家族教室	毎月第4火曜日	14:00～16:00	佐賀県精神保健福祉センター	0952-73-5060
長崎県	家族教室・家族のつどい	要問合せ		長崎こども・女性・障害者支援センター	095-846-5115
山口県	ギャンブル依存症の家族相談	まずは電話相談をご利用下さい		山口県精神保健福祉センター	0835-27-3388
鳥取県	ギャンブル依存症やその対応についての相談	月～金	8:30～17:15	鳥取県立精神保健福祉センター	0857-21-3031
島根県	病的ギャンブリング相談	要問合せ		島根県立心と体の相談センター	0852-21-2885
愛媛県	依存症に関する相談	月～金	8:30～17:15	愛媛県心と体の健康センター	089-911-3880
高知県	家族支援プログラム	毎月第1月曜日	要問合せ	高知県立精神保健福祉センター	088-821-4966
滋賀県	アディクションセミナー	奇数月第3木曜日	13:30～16:30	滋賀県立精神保健福祉センター	077-567-5010
	家族交流会	偶数月第3月曜日	10:00～12:00		
三重県	依存症問題家族教室	偶数月の金曜日	14:00～16:00	三重県こころの健康センター	059-223-5243
福井県	依存症を考えるセミナー	毎月第1水曜日	10:00～12:00	福井県精神保健福祉センター	0776-24-5135
石川県	依存症教室	要問合せ	10:00～12:00	石川県こころの健康センター	076-238-5750
長野県	依存症家族グループミーティング	毎月第2・4木曜日	13:30～15:30	長野県精神保健福祉センター	026-227-1810
神奈川県	家族個別相談	毎週金曜日/要予約	10:30～15:00	認定NPO法人ワンデーポート	045-303-2621
	依存症電話相談	毎週月曜日	13:30～16:30	神奈川県精神保健福祉センター	045-821-6937
	薬物・ギャンブル問題家族セミナー	毎月第4火曜日	14:00～16:00	川崎市精神保健福祉センター	044-201-3242
東京都	家族教室	第1火曜日及び第3・4火曜日	13:00～15:00	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	042-371-5560
	アルコール・ギャンブル依存症問題でお困りの方へ	毎回金曜日	10:00～12:00	東京都立中部総合精神保健福祉センター	03-3302-7711
	ギャンブル家族教育プログラム	毎月第3金曜日	14:00～16:00	雷門メンタルクリニック	03-5828-3841
埼玉県	ギャンブル依存症の相談	月～金	9:00～17:00	さいたま市こころの健康センター	048-851-5665
山形県	依存症相談会	12月17日(水)	要予約	山形県精神保健福祉センター	023-624-1217
北海道	ギャンブル研究会	毎月第2・4火曜日	18:30～20:00	北海道立精神保健福祉センター	011-864-7000

### セミナー等

都道府県	名称	日程	時間	主催	問合せ先
神奈川県	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会(横浜勉強会)	12月7日(日)	13:30～16:00	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会(横浜勉強会)	048-796-7630 浦和まはろ相談室
	参加費 1,000円 事前申し込み必要(依存の問題を持つ本人と家族向けではありません)				

ぱちんこ依存問題で困っていませんか? ☎050-3541-6420 月～金 10時～16時(土日祝祭日除く)

さくら通信 第91号 月間 2014年11月20日発行

発行所:認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町上原103ルボワYARA2F

電話&FAX: 098-871-9671(事務専用回線) Email: recovery-support-net@theia.ocn.ne.jp http://rsn-sakura.jp

お問い合わせや確認のお電話は、事務用回線をお使い下さい。